

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【公表番号】特表2010-516777(P2010-516777A)

【公表日】平成22年5月20日 (2010.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2010-020

【出願番号】特願2009-547366(P2009-547366)

【国際特許分類】

C 0 7 C 405/00 (2006.01)

C 0 7 D 333/40 (2006.01)

C 0 7 D 333/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/222 (2006.01)

A 6 1 K 31/381 (2006.01)

A 6 1 K 31/216 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 405/00 5 0 3 E

C 0 7 D 333/40 C S P

C 0 7 D 333/38

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/222

A 6 1 K 31/381

A 6 1 K 31/216

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/06

A 6 1 K 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月21日 (2011.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

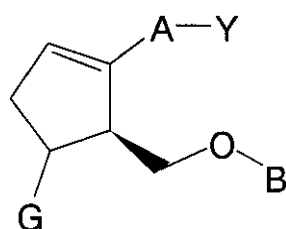
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の式で表される化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ

:

【化 1】



(式中、Yは、有機酸官能基、またはその14個までの炭素原子を含むアミドもしくはエステルであるか；或いは、Yは、ヒドロキシメチル、またはその14個までの炭素原子を含むエーテルであるか；或いは、Yは、テトラゾリル官能基であり；

Aは、 $(CH_2)_6$ 、シス  $CH_2CH=CH(CH_2)_3$ 、または  $CH_2C \equiv C(CH_2)_3$  であり、これらにおいて、1個または2個の炭素原子はSまたはOによって置換することができ；或いは、Aは、 $(CH_2)_m - Ar - (CH_2)_o$  であり、Arはインターアリーレンまたはヘテロインターアリーレンであり、mとoの和は1、2、3または4であり、1個の  $CH_2$  はSまたはOによって置換することができ、1個の  $CH_2 - CH_2$  は  $CH=CH$  または  $C \equiv C$  によって置換することができ；

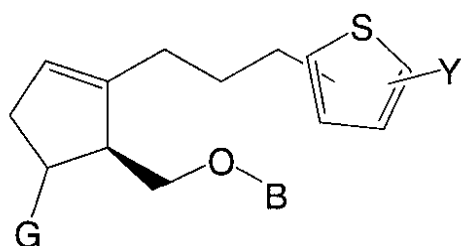
Gは、HまたはOHであり；そして、

Bは、アリールまたはヘテロアリールである)。

【請求項2】

下記の式で表される請求項1記載の化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

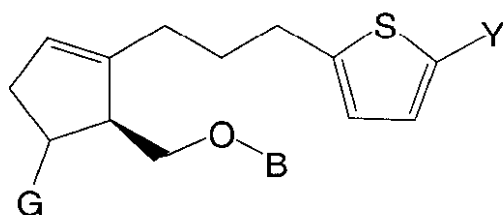
【化2】



【請求項3】

下記の式で表される請求項2記載の化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

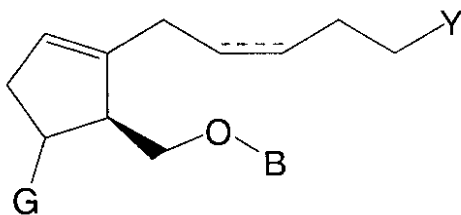
【化3】



【請求項4】

下記の式で表される請求項1記載の化合物、またはその製薬上許容し得る塩、またはそのプロドラッグ：

【化4】



(式中、点線は、結合の存在または不存在を示す)。

【請求項5】

Bが、フェニルである、請求項1～4のいずれか1項記載の化合物。

【請求項6】

Bが、3-クロロ-5-(ヒドロキシメチル)フェニルである、請求項5記載の化合物。

【請求項7】

Bが、3 クロロ 5 (2 ヒドロキシエチル)フェニルである、請求項 5 記載の化合物。

【請求項 8】

Bが、3 クロロ 5 メトキシフェニルである、請求項 5 記載の化合物。

【請求項 9】

Bが、3 (2 アセトキシエチル) 5 クロロフェニルである、請求項 5 記載の化合物。

【請求項 10】

Gが、Hである、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項記載の化合物。

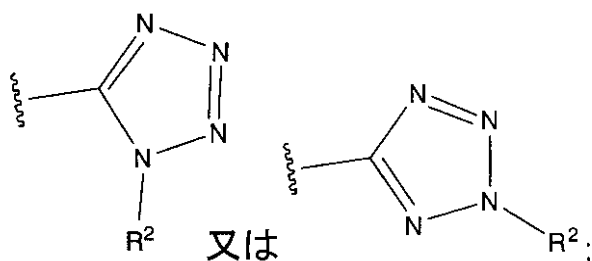
【請求項 11】

Gが、OHである、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項記載の化合物。

【請求項 12】

Yが、 $\text{CO}_2\text{R}^2$ 、 $\text{CON}(\text{R}^2)_2$ 、 $\text{CON}(\text{OR}^2)\text{R}^2$ 、 $\text{CON}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH})_2$ 、 $\text{CONH}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{OH})$ 、 $\text{CH}_2\text{OH}$ 、 $\text{P}(\text{O})(\text{OH})_2$ 、 $\text{CONHSO}_2\text{R}^2$ 、 $\text{SO}_2\text{N}(\text{R}^2)_2$ 、 $\text{SO}_2\text{NHR}^2$ 、下記：

【化 5】



(式中、 $\text{R}^2$ は、個々に、H、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル、非置換フェニルまたは非置換ビフェニルである)

である、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載の化合物。

【請求項 13】

Yが、 $\text{CO}_2\text{R}^2$ である、請求項 12 記載の化合物。

【請求項 14】

請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項記載の化合物を含み、眼科的に許容し得る液体である組成物。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項記載の化合物の、哺乳類の緑内障または高眼圧症の治療用医薬品の製造における使用。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項記載の化合物を含む、緑内障または高眼圧症の治療用医薬組成物。